

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年7月24日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 東北創生研究所キックオフ・シンポジウム開催
2. 被災地の瓦礫“かたづけ隊”構想について
3. 『走れ!! わぁのチャリ』は今年も元気に「市民との交流の輪」を広げています!!
4. 理学部とパルマ大学が学术交流協定を締結
5. “スマイルエンジン山形”7月・8月の運行日が決定
6. 東日本大震災により被災した山形大学志願者の検定料免除

お 知 ら せ

1. 山形大学外国人留学生日本語発表会の開催について

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年8月7日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年7月24日
山形大学

山形大学東北創生研究所 キックオフ・シンポジウム開催

平成24年1月設立した東北創生研究所のキックオフ・シンポジウム
～50年後も発展し続ける社会を目指して～を開催いたします。

昨年3月11日の東日本大震災によって露呈した「都市集中型社会システム」の脆弱さを克服し、今後我が国において急速に進む人口減少の下においても、なお持続可能な社会を実現するためには、相互に依存しながらも、自立性を有する地域社会が共存する「自立分散型社会システム」を構築することが必要であります。

今年1月1日に設立された「山形大学東北創生研究所」は、{(新たな社会システムについて理論的に研究し、加えて、教育・文化、医療福祉のあり方を研究課題とする)社会創成研究部門、「産業構造研究部門」、および「食料生産研究部門」の各部門から成り、これら3つの部門の研究を有機的に結び合わせ、山形県を中心に、東北地方をフィールドとして、「自立分散型社会システム」のあり方を実証的に探求し、実現可能な社会モデルを構築することを目的としています。

この度、「山形大学東北創生研究所」の具体的な取り組みについて広く知っていただくため、下記の要領で、キックオフ・シンポジウムを開催することとなりました。

日 時：平成24年8月8日(水) 13:30～17:00

13:30

開会

13:50～

各部門の研究内容説明

・社会創成研究部門

・産業構造研究部門

・食料生産研究部門

16:00～

パネルディスカッション

17:10～

意見交換会

会 場：山形国際ホテル 平成東の間(シンポジウム)

平成西の間(意見交換会)

参加費：シンポジウム 無料 意見交換会 4,000円

参加申込：準備の都合上、7月31日まで参加申込みをお願いいたします。

(お問い合わせ)

山形大学東北創生研究所 鈴木、小嶋、村松

(TEL) 023-695-6229

少子高齢化の進む日本、とりわけ震災を経験し社会の崩壊が懸念される東北地方。山形大学は総力を結集し「自立分散型社会」をキーワードに東北の創生を目指します。

山形大学 東北創生研究所 キックオフ・シンポジウム

～ 50年後も発展し続ける社会を目指して ～

日時：平成 24 年 8 月 8 日 (水) 13:30～17:00

会場：山形国際ホテル 平成東の間 (シンポジウム) 13:50～
平成西の間 (意見交換会) 17:10～

シンポジウム

13:30 開会

13:50～ 各部門の研究内容説明

- 社会構造、教育・文化、医療福祉のモデル構築により新たな社会システムの創生を目指す、**社会創生研究部門**
- 省エネ、省資源、創エネ材料の開発、スマートハウスでの実証により、新たな産業構造の創生を目指す、**産業構造研究部門**
- 自然と共生する資源循環型の食料生産システムと安全で高付加価値な食料供給システムの創生を目指す、**食料生産研究部門**

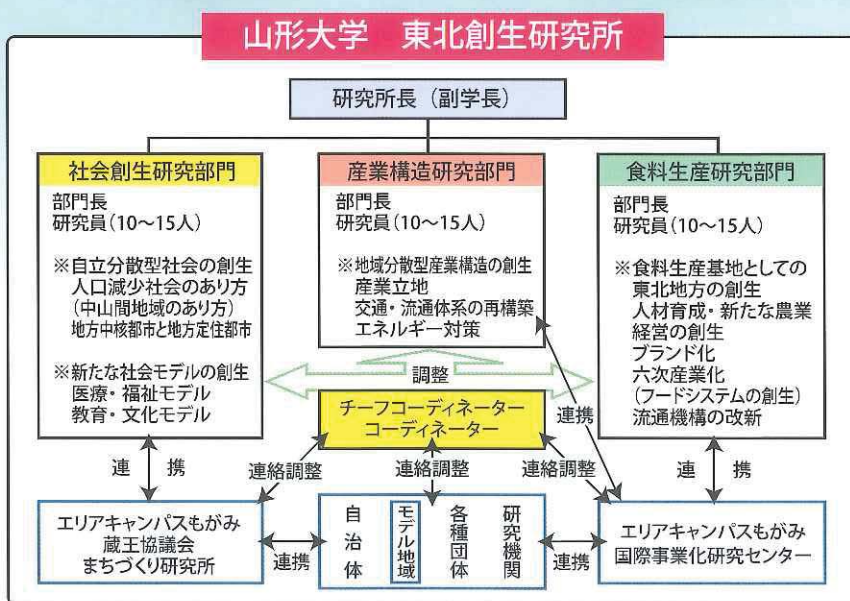
16:00～ パネルディスカッション

17:10～ 意見交換会



東北創生研究所は、平成24年1月1日、学部の枠を越えた全学の英知を結集し、東北地方における新しい自立分散型社会システムの創生を目指すため、上市市にある山形大学総合研究所に設立されました。

本研究所は、東日本大震災において従来の一極集中型の社会システムがもたらす様々な問題が浮き彫りになったことなどを踏まえ、自立分散型社会システム及びその基盤となる新たな社会構造等のモデル構築について、3つの研究部門(社会創生研究部門、産業構造研究部門、食料生産研究部門)を設置し、研究を推進いたします。



参加費：シンポジウム 無料 意見交換会 4,000円

参加申込：準備の都合上、7月31日までに参加の申込みをお願いいたします。

お問い合わせ先：山形大学東北創生研究所 鈴木、小嶋、村松

(参加申込用紙は裏面にございます)

電話:023-695-6228 FAX:023-695-6229 E-Mail:souseiken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 東北創生研究所 キックオフ・シンポジウム ～50年後も発展し続ける社会を目指して～

日 時：平成24年8月8日(水) 13:30～17:00

会 場：山形国際ホテル 平成東の間(シンポジウム) 13:50～
平成西の間(意見交換会) 17:10～

■参加申込書(個人参加者用) 送信先FAX 023-695-6229

お名前	
ご住所	
電話番号・Eメールアドレス	

※シンポジウム終了後、山形国際ホテル平成西の間にて意見交換会を予定しております。
下記のご記入もお願いいたします。(どちらかに○)

意見交換会(参加費4,000円)に	参加します	参加しません
-------------------	-------	--------

■参加申込書(団体参加者用) 送信先FAX 023-695-6229

団体名	
ご担当者氏名	
ご担当者役職名等	
ご担当者連絡先電話・FAX	
ご担当者連絡先 E-Mail	

当 日 ご参加者 氏 名	役職名等	シンポジウム		意見交換会 (参加費4,000円)	
		参 加	不参加	参 加	不参加

※ご記入いただいた個人情報は、厳重に管理し東北創生研キックオフ・シンポジウムに関する業務のみに使用し、他には一切使用いたしません。

送信先FAX 023-695-6229 メールの場合 ; souseiken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成24年7月24日
山形大学

被災地の瓦礫“かたづけ隊”構想

瓦礫を回収、クリーンアップの後、木材瓦礫を燃料として、簡易炭窯を利用し、炭を作製します。

被災地で発生した瓦礫の受け入れがまだ進んでいないというメディアの情報により、農学部では鶴岡高専と連携し簡易炭窯を使い、瓦礫を地元で消化すること、新たな雇用を生み出すこと、生産された炭の利用はビニールハウス等バイオマスエネルギー・新築床下材・河川床バクテリア増殖水質改善・肥料混合融雪剤への利用等の検討を進めてきました。

このたび新たに、瓦礫の片づけが進んでおらず、放射能等安全性が確保されている地域に対して、農学部が中心となり「瓦礫かたづけ隊」を結成し、簡易炭窯を現地へ持参して復興炭の作成、木材（廃材）を集めるクリーン作戦、火を囲んだ被災地ほのぼのの支援（現地の協力者と焼き芋や交流会）等を行う企画をたてました。

つきましては、木材瓦礫の処理で困っている、ただし放射能等安全が確保されている地区から支援要請について募集を行わせていただきます。

支援内容は

農学部学生を中心にボランティアとして伺います。

散乱している、または集積されている木材瓦礫を回収しクリーンアップを行います。

持参する簡易炭窯を利用し、炭を作製するため回収した木材瓦礫を燃料として利用します。一度の炭焼きで約1トンの木材瓦礫を処理することが可能です。

炭にする木材は山形から持参するなど現在検討中です。できるだけ上質な炭ができる樹木を考えていますが、できれば現地での間伐材等を使用することがベストとは考えています。

炭は翌日取り出し、支援地へ寄付いたしますので、復興炭としてイベントや牡蠣焼きの燃料としてお使いいただきます。

なお、一度の炭焼きで約60キロの炭が作れます。

炭焼きは揚煙届を最寄りの消防署へ届けるだけですが、煙がでますので住宅地での実施は困難です。空き地や海岸等実施場所の確保についてもご協力いただければ幸いです。

また、燃やした瓦礫の灰についても一部持ち帰り塩分やセシウム等の検査を行います。

このような取り組みを支援地において実際に行い紹介することで、同じような条件の被災地で新たな支援の輪が広まることを期待いたします。

鶴岡高専と山形大学ではいつも最先端の研究を行っていますが、今回は人類最初の技術と最先端の技術を融合させた炭焼きの技術を活用し、新たな“復興ののろし”を揚げたいと思いますので是非応募いただきますようお願いいたします。

7月14日に最上川河口クリーンアップにおいて漂流木を利用し炭焼きを行いました。



関 連 事 項：この簡易炭窯は約40万円で作ることが可能です。

(お問い合わせ) 山形大学農学部 大谷(おおや) (TEL) 0235-28-2802

平成24年7月24日
山形大学

中古自転車の修理・提供から始まった『走れ!! わあのチャリ』は 今年も元気に「市民との交流の輪」を広げています！！

内容概略 東日本大震災からの復旧・復興支援として始まった農学部学生ボランティア・プロジェクト『走れ!! わあのチャリ』は2年目に入り、幅の広い、新たな活動を展開しつつ、想いを共有する市民との交流の輪を広げています。

農学部の学生・教職員で構成されるボランティア・プロジェクト『走れ!! わあのチャリ』は東日本大震災からの復旧・復興支援を目的に昨年4月から活動を始めました。活動のメインとなるのは「被災者・避難生活者への中古自転車の提供」です。各家庭等で使われなくなった中古自転車を市民から譲り受け、自転車修理の技術を学んだ学生が講義やゼミ、アルバイト等の無い空き時間を利用して整備・修理をし、自転車を必要とする被災者・避難生活者に無償提供する活動を続けてきています。これまでに提供できた自転車の台数は140台を超えました。

柔軟な学生の頭から生まれるアイディアは数多く、上記の自転車の修理・提供を活動の柱にしつつ、多様な活動を元気に展開してきました。

被災地の生活環境の復旧作業：住宅や道路・側溝等からの泥かきだし、庭や畑の清掃・ゴミ回収、がれきの片付け・撤去、避難路の清掃等、被災者の生活環境の復旧作業を継続的に行ってきました。

野菜や花を被災者と一緒に育てよう：農学部の特性を活かし、野菜や花の苗を被災者とともに育てる活動も行ってきました。

小学生とともに花を育てながら震災について考えよう：鶴岡市立朝暁第一小学校の2年生全員に大学生が花の育て方を教え、ともに育て、きれいに咲いた花を被災地の小学校に贈る活動を通じ、小学生と大学生と一緒に震災について考える活動を行いました。

被曝リスクからひとときでも離れたいと鶴岡に一時疎開・保養に来る福島県・宮城県の母子をサポートする市民プロジェクト『フクシマの子どもの未来を守る家』とともに、母子の鶴岡滞在中の生活をサポート（受け入れ住居の整備・清掃、子どもとの遊び等）してきました。

被災地の現状等を市民とともに知り学びたいと、高校での出前授業、ボランティア活動の報告会、原発事故等に関する学習会などを開きました。また、各種インターネット・ツール（ホームページ、ブログ、Facebook等）を活用し、「被災地の今」を広く伝えてきました。

鶴岡市中心の山王商店街に活動拠点『まちなか基地』を設け（国立大学協会の震災復興・日本再生支援事業経費を活用）、プロジェクトの活動内容や、ボランティア活動を元気に展開する学生の姿が間近に見えるようにしました。

活動2年目となる今年度は次の五つの活動を柱に、さらに元気に『人の輪』を広げるような活動を展開しています。

中古自転車の修理・提供を続けています。最近はとくに、庄内で避難生活を続ける方々から「買い物に使うための自転車が欲しい。子供たちの自転車が欲しい。」との声を多く受け、それらに応えようと自転車の整備・修理に勤しんでいます。7月25日には9台の整備済み自転車を避難生活されている母子にお渡しする予定です。

宮城県南三陸町と石巻市の仮設住宅に居住されている方々と「プランターで野菜を育てようプロジェクト」を始めています。仮設住宅の玄関脇等の限られたスペースですが、そこに置いたプランターに野菜を植え、一緒に育てることで、野菜が育つ元気が住民の皆さんに伝わることを願い、育成指導などを行っています。野菜が実った時季には住民の皆さんと「収穫祭」をして、さらに交流を深めようと考えています。

農学部キャンパスの隣の朝暘第三小学校4年生とのコラボレーションにより「被災地に花を贈ろうプロジェクト」を進めています。小学校では総合学習の一つのメニューとして位置付けており、4年生担当の先生方と打ち合わせを重ねながら、元気な4年生全員と楽しく花を育てています。順調に花は育っており、夏休み中も小学生と大学生が当番を決め、水やり等の保育作業をしています。

福島県・宮城県等から一時疎開・保養のために鶴岡を訪れる母子をサポートする「フクシマの子ども未来を守る家」の活動を、同会の市民との協働で進めています。この夏休みには30組ほどの母子が鶴岡を訪れる予定です。昨年同様、受け入れ家屋の整備・掃除作業から始まり、日々の生活サポートや、子供たちと夏休みの宿題をしたり、鶴岡の野や山、海と一緒に遊んだり、「鶴岡の夏休み」を満喫してもらおうと計画しています。

山王商店街に設けた「まちなか基地」を拠点に、日々の活動（毎週火、水、木曜日の15～18時）で、あるいは山王ナイトバザール（毎月第三土曜日開催）に参加したりすることにより、被災地支援の現状等を広く知ってもらい、より多くの市民との交流の輪を広げています。



週末に中古自転車一斉受付会を開く



酒田に避難されている母子に自転車提供



学生が野菜苗の植え付け指導



「うまく育つかな」(南三陸町)



「何ができるか」を一緒に考えよう



一緒に花を育てて、贈ろう



フクシマ母子が夏休みを過ごす家



網戸を付け替え、少しでも快適に！



山王商店街の活動拠点『まちなか基地』 基地内では学生が自転車修理に勤しんでいます

(お問合せ先)
農学部・菊池俊一
電話0235(28)2880

平成24年7月24日
山形大学

理学部とパルマ大学が学術交流協定を締結しました

山形大学理学部は、イタリアのパルマ大学数学・物理学・自然科学部 (The Faculty of Mathematical, Physical and Natural Science, University of Parma) と学術交流協定を締結しました。

山形大学理学部の学部間学術交流協定校は、本年3月のハワイ大学マノア校に続き6校目となり、今後の学生交流と研究交流がより一層盛んになることが期待されます。

また、現在理学部では、スペインのサラマンカ大学、イギリスのサリー大学との学術交流協定に向けて準備を進めています。

1 学部間学術交流協定について

(1) 学部間学術交流協定調印式について

日時：平成24年6月28日(木)

場所：パルマ大学

締結者：パルマ大学長 Gino Ferretti教授

パルマ大学数学・物理学・自然科学部長 Mario Tribaudino教授

山形大学理学部長 坂本政臣

(2) 協定内容

教職員及び学生の交流

共同研究活動

教育及び研究に関する情報の交換

2 パルマ大学の概要について

イタリア北部のエミリア・ロマーニャ州パルマにある州立大学で、1502年に設立され、世界最古の大学の一つとして知られている。

前身はGeneral Liberal Arts Curriculumのセンターとして1117年に創立され、理学系学部は1780年に設立された。

農学部、建築学部、芸術学・哲学部、経済学部、工学部、法学部、数学・物理学・自然科学部、医学部、薬学部、政治学部、心理学部、獣医学部の12学部からなり、学生総数は約3万人である。今回締結した数学・物理学・自然科学部には、約1万人の学生が学んでいる。

3 山形大学理学部のこれまでの学術交流協定状況

区分	国名	大学名
1	大韓民国	大邱大学校自然科学大学
2	大韓民国	釜山大学校自然科学大学
3	中華人民共和国	福建師範大学
4	中華人民共和国	北京林業大学理学院
5	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校海洋・地球科学・テクノロジー学部

4 パルマ大学ホームページの紹介記事

<http://www.unipr.it/notizia/firmato-accordo-tra-le-universita-di-parma-e-yamagata-giappone-588941>

(お問い合わせ)

理学部学部長補佐 教授 リチャード・W・ジョルダン
(TEL) 023 - 628 - 4645

理学部国際交流委員会 教授 近藤 慎一
(TEL) 023 - 628 - 4587



平成24年7月24日

山形大学

スマイルエンジン山形7・8月運行日決定

山形大学と東北芸術工科大学が協力し運行している日帰りボランティアバス“スマイルエンジン山形”の7・8月の運行日が決定しました。
8月の便は本大学と協力校である立命館大学との合同企画として実施し、立命館大学からも多くの学生が参加します。

スマイルエンジン山形は山形大学と東北芸術工科大学との連携事業として、2011年5月4日から運行を開始しました。現在までに41回運行し、総参加者数1,633名が被災地での活動を行って来ました。今年の4月からは、現在の被災地の調査を行い、ニーズや支援可能性を判断して運行予定を決めています。

【今後の運行予定】

以下の日程で引き続き活動を行って参ります。

7/28便（通常便：社会人も含めて広く参加者を募集）

8/18便（学生便：立命館との連携プロジェクトとして実施）

（申し込みサイト）<http://www.smiletrade10.com/engine/>

【立命館大学との連携プロジェクトについて】

山形大学と立命館大学の包括的協力協定に基づき、今年も連携プロジェクトを実施します。今回は、以下の日程で震災復興支援に取り組む新しいリーダー育成を目指します。

8/18日（土）：スマイルエンジン山形学生便

8/19日（日）：石巻へのスタディツアー

（“被災地に学び、日本の未来を構想する”を課題に自立学習型のツアー）

8/20日（月）：スチューデント・イニシアチブ

（次の復興支援活動に向けて、被災地域での具体的な調査活動）

（お問合せ先）

山形大学

エンrollment・マネジメント部

教授 平尾 清

電話：090-8494-4244

スマイルエンジン



一緒にボランティアしませんか？

スマイルエンジン山形 日帰り
ボランティア



参加者
募集中!!

運行日

7/28(土)

8/18(土) - 立命館大学との合同学生便

当日の流れ

- 5 : 4 5 やまがた藝術学舎（松見町）出発
- 9 : 0 0 南三陸町到着
- 9 : 3 0 作業開始
- 1 2 : 0 0 お昼
- 1 3 : 0 0 作業開始
- 1 5 : 0 0 山形に向け出発
- 1 8 : 0 0 山形到着・ディスカッション(希望者)

※当日の状況により、内容が変更になる場合もあります。

ボランティアに興味のある方、

活動してみたいと思っている方、ぜひご参加ください!!

詳細はコチラ↑

お問い合わせ: shu3shu3shu3@gmail.com(学生副代表・熊谷) HP <http://www.smiletrade10.com/engine/> twitterアカウント @smile_engine

初めての人でも
大丈夫!!



プレス発表資料

平成 24 年 7 月 24 日
山形大学

東日本大震災 被災者の検定料を免除します。

東日本大震災により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。山形大学では、東日本大震災で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、昨年度に引き続き、検定料免除の特別措置を講じます。

1 免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する平成 25 年度学部入学者選抜試験（一般入試、AO入試、推薦入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試を対象。）とします。

2 対象者

平成 25 年 4 月に本学の学部に入学者を志願する方で、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

(1) 志願者の学資を主として負担する者が震災に際して災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された次の市町村（東京都を除く。）に居住（平成 23 年 3 月 11 日において当該市町村に居住していた者を含む。）し、家屋等が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受けた者

岩手県、宮城県、福島県の全市町村

青森県、茨城県、栃木県、千葉県の実地災害救助法適用市町村

(2) 学資負担者が震災により死亡又は行方不明の者

(3) 学資負担者が震災により失職した者

(4) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者

3 申請の方法

免除を希望される方は、申請前に末尾に記載の「エンロールメント・マネジメント部政策課」に連絡し、確認を受けた上で、申請期限（必着）までに、申請書類を同じ「エンロールメント・マネジメント部政策課」宛てに提出してください。

なお、提出に当たっては、封筒の表に「入学検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒（長 3 封筒、80 円切手貼付、住所・氏名記入）を同封してください。

4 申請期限（必着）

○A○入試	... 平成 24 年 7 月 30 日(月)
社会人入試	... 平成 24 年 10 月 11 日(木)
推薦入試 及び推薦入試（医学科のみ）	... 平成 24 年 10 月 18 日(木)
推薦入試（医学科を除く）及び私費外国人留学生入試	... 平成 25 年 1 月 7 日(月)
一般入試（前期日程・後期日程）	... 平成 25 年 1 月 24 日(木)

5 申請書類

- (1) 入学検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロードしてください。）
- (2) 市町村長が発行するり災証明書又は被災証明書（対象者の(1)又は(4)に該当する方）
- (3) 学資負担者の死亡等を証明する書類（対象者の(2)に該当する方）
- (4) 学資負担者の失職を証明する書類及び雇用保険受給証明書の写し（対象者の(3)に該当する方）

6 許可又は不許可の通知

- (1) 許可された方には、出願受付期間前までに「決定通知書」を送付いたします。入学願書の提出に当たっては検定料を納付せず、送付された「決定通知書」を添えて提出してください。
- (2) 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知いたします。入学願書の提出に当たっては、検定料を納付の上、必要な手続きをしてください。
なお、検定料の納付がない方の当該入学者選抜に係る出願は、これを受理しません。

7 その他

- (1) 諸事情により、申請期限までに申請書類の(2)から(4)までの該当書類が提出できない場合は、一旦検定料を納付した上で、入学願書を提出してください。
なお、平成 25 年 3 月 31 日までに当該書類を提出し検定料の免除を許可された場合には、検定料の返還手続きをした上で、当該検定料相当額を返還することになります。
- (2) 検定料の免除を許可された方が、免除を受けるために虚偽の申請をした場合は、許可の日を遡ってこれを取り消します。その場合は、直ちに検定料を納付してください。
- (3) 本件に関し、不明の点等がありましたら、下記にお問い合わせください。

本件の提出先及びお問い合わせ先：

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

山形大学エンロールメント・マネジメント部

政策課（担当：政策課副課長）

TEL：023-628-4062 / FAX：023-628-4185

プレス通知資料（概要）



平成24年7月24日
山形大学

1. 山形大学外国人留学生日本語発表会の開催について

（概要）本学に在籍する短期留学生たちの「日本語発表会」を開催します。半年から1年間、日本語の授業で学んだ成果を発表するために、日本語によるスピーチ、研究内容発表を行いますので、是非、多くの方に聞いていただきたいと思います。

申し込みは不要で、当日、直接会場までお越しください。

日時：平成24年8月1日（水） 10:00～16:30（終了予定）

場所：山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館116講義室

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので、開催や申込み締切がせまっているイベント

第5回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇「風の又三郎」に一般市民200名を無料招待
（概要）第5回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇「風の又三郎」に一般市民200名を無料招待します。ただし入場券が必要ですので、7月27日（金）までにお申し込みください。

日時：9月16日（日）13時30分～17時ごろ

場所：シベールアリーナ（山形市蔵王松ヶ丘）

第一部：山形大学高校生朗読コンクール

第二部：群読劇「風の又三郎」

演出：佐藤正文氏（演出家、酒田市出身）

出演：紺野美沙子、益岡徹、北川麗

群読隊：山形の子どもたち・一般市民・山形大学生約50名

山形大学オープンキャンパス2012を開催します。

（概要）山形大学を志望している受験生や、高校1・2年生、高校教員、保護者等の皆様を対象に「山形大学オープンキャンパス2012」を開催します。

山形大学のことをより詳しく知っていただくため、各学部（学科）概要説明や、模擬講義、体験授業、相談コーナー等を行います。

開催日：	小白川キャンパス（人文学部、地域教育文化学部、理学部）	平成24年7月28日（土）
	飯田キャンパス（医学部）	平成24年7月28日（土）
	米沢キャンパス（工学部）	平成24年8月3日（金）
	鶴岡キャンパス（農学部）	平成24年8月3日（金）

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕


平成24年度山形大学外国人留学生日本語発表会

日時：平成24年8月1日(水)

会場：基盤教育1号館 116講義室

No.	時間	学部・研究科	発表者	国・地域	タイトル	備考
開会のあいさつ・諸連絡						
	10:00-10:05					
1	10:05-10:25	基盤教育院	パンサムデー ナパーポーン	タイ	コンケン旅行	
2	10:25-10:45	人文学部	マイク デイビス	アメリカ	すばらしいフォートコリンズ	
3	10:45-11:05	基盤教育院	ケビン スワフォード	アメリカ	砂漠の宝	
4	11:05-11:25	人文学部	ラリーサ ウコーエバ	ロシア	スハルバン - ブリヤートの伝統的なスポーツ	
5	11:25-11:45	人文学部	アンバエバ オユナ	ロシア	サガールガン - ブリヤートの伝統的な祭り	
6	11:45-12:05	理学部	ジョン ピルジョン	韓国	韓屋について	
昼休み						
7	13:15-13:35	基盤教育院	ナリン ウォンスリテープ	タイ	タイの刺青文化サクヤン	
8	13:35-13:55	地域教育文化学部	ラッティカーン チンコート	タイ	タイの新年ソンカーン	
9	13:55-14:15	基盤教育院	アナンタウィシアン シシラー	タイ	タイ料理の食材について	
10	14:15-14:35	人文学部	アーレン カーウッド	アメリカ	アメリカの初代大統領ジョージ・ワシントン	
11	14:35-14:55	人文学部	ダグラス マシー	アメリカ	オクラホマ生まれの有名人ウィル・ロジャース	
12	14:55-15:15	基盤教育院	ノーバート マシニャック	イギリス	ポーランド生まれの文化人類学者プロニスワフ・ピウスツキ	
休憩						
13	15:30-15:55	人文学部	シーリ カンカーンパー	フィンランド	日本語のフォリナー・トーク研究について	
14	15:55-16:20	人文学部	謝 紅艶	中国	感情形容詞の中日対照	
	16:20-16:30	講評				

【山形大学小白川キャンパス事務部学生課】

(留学支援担当)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL : 023-628-4119 / FAX : 023-628-4120

E-mail : kmryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学特別プロジェクト

いま、言葉を
東北の灯に

群読劇

「風の又三郎」

言葉

【群読劇 出演者】



益岡 徹

紺野 美沙子

北川 麗

群読隊：山形の子どもたち・一般市民・山形大学生約50名

日時：平成24年9月16日(日)

13:00開場 13:30開演 (終演17:00ごろ)

会場：シベールアリーナ (山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

入場方法：一般市民200名を無料でご招待します。ただし入場券が必要です。

※入場券申込方法：往復ハガキに〈代表者氏名〉〈郵便番号・住所〉〈電話番号〉
〈入場希望者氏名(代表者含め3名まで)〉を記入しお申込みください。

※7月末に抽選で招待者を決定し、当選された方には入場券をお送りします。

申込締切：平成24年7月27日(金)必着

主催：国立大学法人 山形大学 共催：公益財団法人 弦地域文化支援財団

申込・お問合せ先：山形大学 渉外部渉外課

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL:023-628-4016

※電話によるお問合せは、平日9:00~17:00にお願いします。

※個人情報については、抽選結果連絡、入場券発送のみに利用いたします。

第五回 山形大学高校生朗読コンクール

山形大学特別プロジェクト
 「いま、言葉を東北の灯に」
 第5回高校生朗読コンクール／群読劇「風の又三郎」

【タイムスケジュール】

13:30 第一部 高校生朗読コンクール
 15:00ごろ 第二部 群読劇「風の又三郎」
 16:30ごろ 第三部 コンクール結果発表・表彰式

【第5回山形大学高校生朗読コンクール】

第5回を迎える今回から、東北出身の作家・東北を描いた作品を課題として取り上げます。東北を描いたすぐれた文学的文章にふれることで、東北の未来を考えていこうとする試みにほかなりません。

予選を通過した東北の高校生たちが、青森県出身の作家太宰治が太平洋戦争のさなか帰郷した経験をもとに、故郷に対する深く複雑な思いを独特の言い回しで綴った『津軽』をリレーで朗読します。

【群読劇「風の又三郎」】

岩手県出身の宮沢賢治の東北の大地に根ざした童話『風の又三郎』にもとづく群読劇(集団での朗読を主体にした舞台)を上演します。

演出は酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として紺野美沙子さん・益岡徹さん・北川麗さんを招き、山形の子どもたち、一般市民の皆様、山形大学学生およそ50名とともに舞台をつくります。

あらすじ

—そのしんとした教室の中に、どこから来たのか、まるで顔も知らないおかしな髪の子供が一人、一番前の机にちゃんと座っていたのです。

田舎の小さな学校に、ある日突然やって来た男の子「風の又三郎」。おかしな格好をして、みんなとはちょっと違った様子の彼との出会いは、子供たちの心に新しい風を吹き込んだのでした。



現在、上演に向けて一所懸命練習しています。

【出演者プロフィール】

紺野美沙子(こんの・みさこ)

俳優・国連開発計画(UNDP)親善大使。1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。大河ドラマ「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」では三女・雪子役を好演。テレビ・映画・舞台と多岐にわたって活躍する。

1998年からUNDP親善大使としてアジア・アフリカの開発途上国を視察するなど、国際協力の分野でも活動し、視察の様子を記した「ラララ親善大使」(小学館刊)を出版。2010年秋より「紺野美沙子の朗読座」を主宰し、音楽や影絵、映像など様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスを定期的に続け、東北支援公演も積極的に行なっている。2012年7月舞台「日本の面影」(俳優座劇場)に出演。

益岡 徹(ますおか・とおる)

俳優・ナレーター。1956年生まれ。早稲田大学商学部卒業と同時に、仲代達矢氏主宰の無名塾に入塾。映画・舞台・TVドラマの幅広い分野でどんな役もこなせる貴重な存在の俳優として息の長い活躍を続けている。情感のあるナレーションにも定評があり、ドキュメンタリー番組やラジオドラマ、広告の作品で日本民間放送連盟賞などを受賞。映画「釣りバカ日誌」「聯合艦隊司令長官 山本五十六」「宇宙兄弟」「臨場」、テレビ大河ドラマ「飛ぶが如く」(NHK)、朝の連続テレビ小説「ウェルかめ」(NHK)、「京都地検の女」(テレビ朝日)。舞台「炎の人」(ホリプロ)、「負傷者16人」(新国立劇場)など出演作多数。世界わが心の旅(NHK)、「グレートジャーニー」(CX)等のナレーションを担当。

北川 麗(きたがわ・れい)

埼玉県出身。小学1年生から池袋朗読文化研究所に通う。埼玉県立芸術総合高校舞台芸術科を卒業後、日本大学芸術学部演劇学科演技コースに進学、2011年3月に卒業。大学入学後「ロロ」などの劇団に出演し、自主映画「おとふ」にヒロイン役として出演。現在は劇団「中野茂樹+フランケンズ」に所属。将来が期待される若手演劇人である。



【演出・出演】

佐藤 正文(さとう・まさふみ)

俳優・演技トレーナー。日本大学芸術学部演劇科非常勤講師(演技実習担当)。酒田市生まれ。酒田東高等学校、桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座を経て安部公房スタジオ創立に参加。のちフリー。1979年「仔象は死んだ」に出演、米国5都市を巡演。俳優座劇場プロデューズ、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年コロンビア大学で開催された安部公房シンポジウムにおいて、演技術・安部公房システムを紹介。1997年シンポジウム・安部公房「演劇の仕事」及びワークショップ「安部システム」を旧メンバーとともに主催。私塾A.T.ラボ(1985年創立)を主宰。2004年ギイ・フォワシ演劇コンクールに於いて、演出した「ストレス解消センター行き」が最優秀賞を、2006年には「救急車」が優秀賞を受賞。スターダスト・プロモーション、avex等の芸能プロダクションで、演技レッスン担当、多数のスタータレントを育てる。名古屋など地方都市でのワークショップを精力的に行っている。

会場案内

会場：シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

電話番号：023-689-1166

Webサイト：<http://www.gen.or.jp/>

アクセス

お車の場合：山形自動車道～山形蔵王ICから国道13号線を米沢方面へ約30分

東北中央自動車道～山形上山ICから国道13号線を天童方面へ約3分

徒歩の場合：JR蔵王駅より徒歩20分

バスの場合：山交ビル角～表蔵王口(上山・高松葉山行き)20分





「なりたい自分」になる一歩

YAMAGATA UNIV. OPEN CAMPUS '12

[山形大学オープンキャンパス 2012]

7月28日(土)

人文学部—小白川キャンパス(山形市内)

9:30~16:00(受付は9:00から)

地域教育文化学部—小白川キャンパス(山形市内)

9:30~16:30(受付は9:00から)

理学部—小白川キャンパス(山形市内)

9:30~16:00(受付は9:00から)

工学部・農学部の相談ブースも設置します。9:30~16:30

医学部—飯田キャンパス(山形市内)

医学科 10:00~12:30(受付は9:30から)

医学科は体験授業(一日医学生)も開講します。13:30~15:40

看護学科 14:00~16:30(受付は13:20から)

※看護学科棟の施設見学・演習体験は13:00から参加可能です。

8月3日(金)

工学部—米沢キャンパス(米沢市内)

9:30~16:30(受付は9:00から)

農学部—鶴岡キャンパス(鶴岡市内)

10:40~16:00(受付は9:30から)

◎各キャンパス“最寄の駅”から無料シャトルバスを運行いたしますのでご利用ください。(小白川キャンパス—山形駅、飯田キャンパス—山形駅、米沢キャンパス—米沢駅、鶴岡キャンパス—鶴岡駅)
◎小白川キャンパス(7/28開催)に自家用車でこられる場合は、構内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用ください。山形県庁から小白川キャンパスまでは無料シャトルバスを運行いたします。
◎小白川・飯田の両キャンパス(7/28開催)にお越しの方は、山形駅乗り継ぎで無料シャトルバスをご利用ください。

詳しくは山形大学ホームページをご覧ください。 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

事前申込が必要です。山形大学ホームページか携帯サイトから申込ください。(原則として予約制ですが、当日の参加も歓迎します。)

◎携帯サイトからの申込はコチラ➔

